



2020
年度

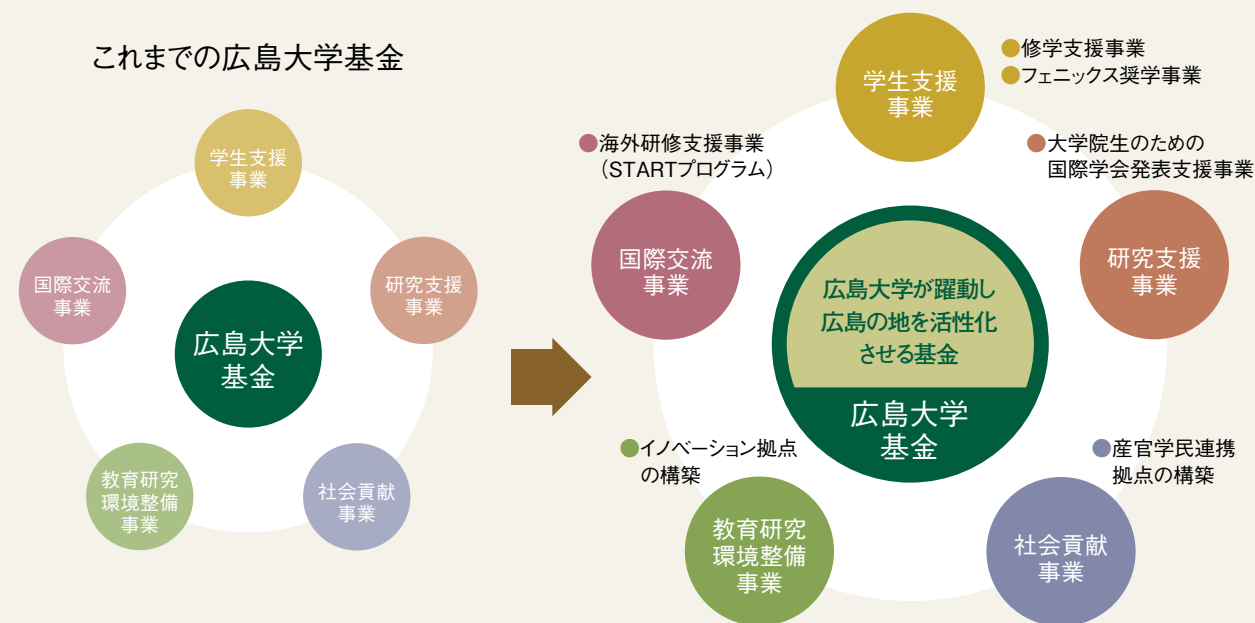
広島大学基金

活動報告書



広島大学

広島大学75+75周年に向けて



東千田キャンパス
を中心とした

- 産官学民連携活動拠点による新産業創出とまちおこし
- 平和創生教育研究文化活動拠点の構築
- 国際交易イノベーション拠点の構築
- 日本語・日本文化教育拠点の構築



霞キャンパス
を中心とした

- 医工産官学連携卓越医療拠点の構築
- 国際医療イノベーション拠点の構築



東広島キャンパス
を中心とした

- 世界展開を視野に入れた、産官学民連携地域イノベーション拠点の構築
- 世界に冠たる卓越した国際教育研究拠点の構築

広島大学基金は2007年に創設され、学生支援事業を中心に本学の教育・研究を支えてきました。2017年からは、広島大学創立75周年、創立前史の75年も加えて150年の節目の年となる2024年に向け、「広島大学が躍動し広島を活性化させる基金」として、周年事業のための寄付募集を行っています。周年事業では、広島大学が躍動できる環境を構築し、地域や実業界との協働を強化することで広島大学の発展を実現するため、次の事業を行うことを目的としています。

» 1 「精神的価値が成長する感性イノベーション拠点（感性COI拠点）」を中核とした、より高いレベルで地域や実業界との協働を目指す拠点の構築

» 2 平和センターを中核とした平和に関する教育・研究・社会貢献拠点の構築

» 3 海外トップ研究者による研究成果の社会実装を目指すための研究者と実業界との交流拠点の構築

これらの事業を通して躍動する広島大学を、地域の方々が最大限に活用し、広島が活性化することを目指しています。

広島大学基金を礎に、広島大学が躍動し、地域の発展・活性化へ



広島大学長

越智光夫



日頃より広島大学基金に温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、広島大学基金の活動状況を広く皆様に知っていただくことを目的として、初の「広島大学基金活動報告書」を作成いたしました。さて、新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会全体に大きな影響を与え、大学生活にも対面授業の中止をはじめ、かつてない激変をもたらしました。この事態を受けて広島大学は、アルバイトの機会を失い、生活に困窮した学生に対して「応急学生支援金」をいち早く支給するなど、学生に寄り添った取組みを教職員一丸となって推進しております。応急学生支援金は4月21日から、広島大学基金の枠組みで募金を開始し、6月15日までの期間で1,174件、6,621万1千円ものご浄財をいただきました。これまでに支援金(1カ月3万円)の支給件数は延べ857件に上り、当分の間、継続して実施します。一方、2024年の開学75周年に向けた取組みでは、東広島、霞、東千田の各キャンパスの特色を活かした拠点化を進めてお

り、基金を活用した環境・拠点整備にも力を入れていく所存です。このうち東広島キャンパスにおいては、複合的な機能を持つ「国際交流拠点施設」を2020年10月に着工し、2021年秋に開設する予定です。海外からの研究者や留学生に安全で快適な生活環境を提供するとともに、本学学生や市民との交流を通じたイノベーション・ハブを目指します。このほか、新入生を対象にした短期留学のSTARTプログラムや、STARTプラスプログラムに加え、「フェニックス奨学制度」および「光り輝く奨学制度」など、世界で通用する人材を育成するための学生支援事業にも、広島大学基金として引き続き取り組んでまいります。国から配分される運営費交付金の減額により、国立大学を取り巻く状況はいっそう厳しさを増しています。地域活性化の柱として広島大学が躍動し、学生の教育・研究環境を維持・発展させていくために、皆様からのご寄付は欠かせない基盤となっております。今後とも広島大学に力強いご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

1 応急学生支援金

新型コロナウイルス感染拡大の影響により生活に困窮した学生を救うために、広島大学では全国の大学に先駆けて「応急学生支援金」を募集しました(2020年4月21日～6月15日)。報道等でこの支援金を知り、趣旨にご賛同いただいた多くの卒業生、保護者、市民の皆様から、励ましのお言葉と多くの寄付が寄せられました。皆様からのご支援に心より感謝申し上げます。おかげをもちまして、学生への支援金(1カ月3万円)を順次給付しています。広島大学では困窮する学生への支援として、引き続き「修学支援事業基金」を募集しています。今後とも力強いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

修学支援事業基金

https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou/syugaku_sienkikin



寄付件数 延べ1,174件
総額66,211,000円
支援件数 延べ857件(継続支援中)
(2020年10月9日現在)

支援を受けた学生から

勉強に集中する環境を得られました

理学部・新入生

県外からの新入生です。4月からアルバイト先を探していましたが、募集自体が少なく、仕事を見つけられませんでした。貯蓄を切り崩しながらの生活は不安が大きく、リモートでの授業にも集中できない状態でした。幸運にも広島大学の支援金を受けられたことで、当面の生活への不安を取り除くことができました。勉強に集中する環境を作ることができ、本当に感謝しています。ありがとうございました。

生活できなくなる事態を回避できました

大学院教育学研究科・留学生

教育施設でアルバイトをしていましたが、コロナウイルスの影響で勤め先が休業となり、仕事がまったくなくなってしまいました。食費に充てるお金がなく、本当にその日の食事にも困るような状況でした。今回の支援金3万円を食費とし、生活が立ち行かなくなる事態を避けることができました。このお金がなければ、とても生活ができなかったと思います。本当に助かりました。ご支援いただいた皆さん、ありがとうございました。

支援金で食費を賄うことができました

大学院人間社会科学研究科・新入生

4月に広島大学の人間社会科学研究科へ入学しました。広島へ引っ越し後、アルバイトを探したのですが結局見つけれず収入がない状況でした。授業料には奨学金を充てましたが、生活費がなく、広島大学の支援金に申請しました。4月と5月の2カ月間支援を受け、食費を賄うことができました。支援金があるのとないのでは、大きな違いがあったと実感しています。ご支援いただいた皆様、本当にありがとうございます。

寄付者から

- 学生の皆さん、しっかり勉強できるよう支援していきたいと
思いますので、諦めず今の状況を乗り切ってください。
- 大変な時期だと思いますが、大学生活で勉強だけでなく、
様々なかけがえのない経験をしてください。
- この苦しい日々が終わり、この経験を糧に広島大学がさらに
躍進する日が一日も早く訪れることを心から祈念しております。
- コロナウイルスに負けるな！頑張れ！広大生！
- 微力ながら、後輩の皆様の生活の足しになれば幸いです。
貴重な大学生活を、不安な中過ごしていると思うと胸
が張り裂けそうな思いです。授業も部活動も、たくさんやり
たいことができる、素敵な大学生活が早く戻ってくるよう
祈っています。



学内の各施設でもさまざまな
感染防止策を
実施しています。

新型コロナウイルス 感染拡大に伴う 支援事業

2 クラウドファンディング

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、オンライン授業、ネットワーク環境下での交流・課外活動、日々の感染防止対策等、ニューノーマル(新しい常識)の中で、学生たちの学業・学生生活がスタートしました。学生たちに寄り添ったサポートとして、本学に何ができるかを考え、READYFOR株式会社と連携し、クラウドファンディングにて支援プロジェクトを立ち上げました(2020年6月11日～7月30日)。多くの方々から温かいコメントと共にご支援が集まりました。ご協力いただいた皆様には心より感謝申し上げます。支援金はウィズ・コロナの時代に、安心して学生が学業に励めるよう大切に役立てていきます。



寄付件数 延べ102件
3,110,000円

3 新型コロナ研究支援

三井住友信託銀行(株)様が新型コロナウイルス感染症に対するワクチンや治療薬の開発等に取り組む国内14大学・研究所への支援を目的とした「新型コロナワクチン・治療薬開発寄付口座」を開設し、一般の方々から寄付を募集しました(2020年5月21日～8月31日)。支援金は新型コロナウイルス感染症に対する「治療薬の開発・既存薬の転用」の研究に役立てていきます。

広島大学への支援 558件
15,359,860円

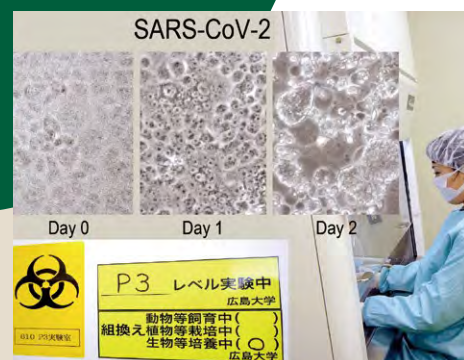
広島大学の新型コロナウイルス研究

広島大学の叡智を結集して 新型コロナウイルスに立ち向かう

大学院医系科学研究科 教授 坂口 剛正



新型コロナウイルスに立ち向かうべく、医学・歯学・薬学・保健学の医療系の研究室が一丸となって(名称:広島大学CoVピースプロジェクト)、PCR検査体制の確立、ウイルス治療薬の探索、ウイルス検査方法の簡便化などの多方面のプロジェクトを進めています。ウイルス学研究室は、その中心としてP3高度封じ込め実験施設での新型コロナウイルス培養実験を行っております。始まってまだ間もないですが、すでに学内の薬剤シーズの中からウイルス増殖を抑制する薬剤を見つけ、その標的である細胞側のタンパク質を同定しています。今後は早く成果を出してウイルス制御に貢献していきたいと考えています。



小分子RNA解析技術を用いた 新型コロナウイルス診断・創薬への応用

大学院医系科学研究科 教授 田原 栄俊

COVID-19による重症肺炎に立ち向かう: 体外式膜型肺(ECMO)を駆使した 救命戦略に関する研究

大学院医系科学研究科 教授 志馬 伸朗

電力を必要としない、3Dプリント可能な 人工呼吸器モデルで世界を救う

学術・社会連携産学連携推進部
バイオデザイン部門 部門長 木阪 智彦

病原体に対抗する抗体の解析を通じて、 感染症を克服する

大学院医系科学研究科 教授 保田 朋波流

詳しい研究内容はこれから!

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/research/covid19>



学生支援への取り組み

進学・修学、海外留学など、さまざまな側面から、学生への経済的な支援を行っています

※学生の学年は取材当時のものです。

1 フェニックス奨学制度・ 光り輝く奨学制度

支援
人数 112人
(2008～2020年度)

支援
金額 1億2,816万円
(直近3年間)

学力が優秀でありながら、経済的な理由により、進学・修学が困難な学生を支援する本学独自の給付型奨学制度です。広島大学基金では奨学生に月額10万円を支援しています。



VOICE 奨学生の感謝の声 林田勇太さん 教育学部4年次生

大学への進学は経済的に厳しい状況でしたが、フェニックス奨学制度で進学が叶い、人生の可能性が大きく広がりました。卒業後は大学院で国際協力の教育分野を研究する予定です。途上国にはさまざまな要因で自らの可能性を閉ざされる子どもたちが多くいます。教育を通じて、今度は自分が他者の人生の可能性を広げられる存在になりたいと考えています。



2 短期海外研修支援 (STARTプログラム)

支援
人数 1,835人
(2010～2019年度)

支援
金額 5,316.6万円
(直近3年間)

海外協定大学での授業や生活を通じて国際交流や長期留学への関心を高めることを目的としています。広島大学基金では海外研修に参加する学生の渡航費や滞在費の一部を支援しています。



3 大学院生のための 国際学会発表支援

支援
人数 1,817人
(2010～2019年度)

支援
金額 2,131万円
(直近3年間)

大学院生が海外で行われる国際学会で発表する機会を増やすことにより、学生による研究活動の活性化を促進し、国際的に通用する人材の育成を行うことを目的としています。広島大学基金では、学会発表に必要な渡航費等を支援しています。

VOICE 派遣学生の感謝の声 西野幸子さん 大学院社会科学研究科 博士課程後期3年次生

初めて参加した台湾・台北での国際学会では、緊張しながらもさまざまな国の研究者と自分の研究課題の問題意識を共有することができ、貴重な経験となりました。また今後も活発に研究活動を進めたいという意欲も湧きました。このような機会を与えていただいた国際学会発表支援制度に心から感謝するとともに、この支援制度の存続を願っています。



4 国際共創学科 海外留学奨学金

総合科学部国際共創学科は2018年4月に開設された新しい学科です。国際社会の抱える諸課題を理解し、大きく変動する世界情勢に対応するために、世界中から集まった学生と一緒に学び、文化間のコミュニケーション能力、互いの相違を認め合う寛容性や多角的な視点・思考力、そして協調性を身につけていきます。授業はすべて英語で行われ、2年次後期に約半年間の留学、3年次にグローバル・インターンシップ(国内外の企業、公的機関、非営利団体等)を体験します。広島大学基金では留学時の渡航費などを支援しています。

VOICE 支援学生の感謝の声

上條由建さん

総合科学部国際共創学科 2年次生
ユヴァスキュラ大学(フィンランド)へ留学
[派遣期間] 2019年8月～同年12月



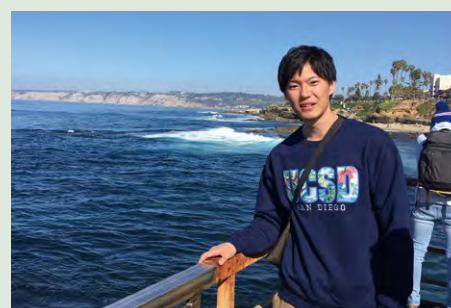
フィンランドへ留学した4カ月間で得た経験は、未だに完全な振り返りが終わらないほど非常に大きなものでした。価値観の多様さに驚くと同時に、新しい情報に触れ、常に勉強し続けなければ「当たり前」の概念に縛られる怖さを実感した留学でした。しかし同時に、この経験から自分の人生が思ってもみなかった方向へ動き出す予感がしています。経済的な支援のない国からの留学生も少なくない中、広島大学基金から支援をいただき、恵まれた環境で留学をより一層有意義なものにできたことに感謝しています。

学生インタビュー interview 2人の派遣学生にどんな学びや 体験があったのかを聞きました！



支援を受けた
その他の学生の紹介はこちらから

最先端のがん研究に触れ、
研究活動に専念



インターンシップ 臼井颯哉さん

先端物質科学研究科 博士課程前期2年次生
カリフォルニア大学サンディエゴ校 (UCSD) Moores Cancer Center (アメリカ) へインターンシップ派遣
[派遣期間] 2020年1月～同年2月

●インターンシップへ参加した経緯を教えてください

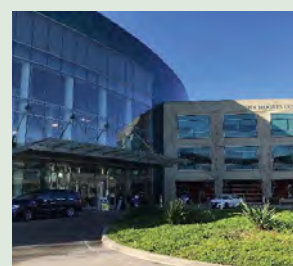
私の研究室ではがんや免疫の研究を行っています。世界トップレベルの研究や、最先端設備のあるUCSD校で、優れた指導教員のもと学ぶことに意義があると思い参加しました。また、派遣に係る費用の多くが奨学金として支給されることも魅力的でした。

●インターンシップ先での研究はどのようなものでしたか

がん細胞の増殖に関する研究を行いました。今回は、糖尿病治療薬のメトホルミンが、特定物質を抑制するメカニズムを解明するための研究を行いました。メトホルミンを投与することでがんの増殖を抑える機能の解明に近づくことができました。

●インターンシップを振り返っていかがでしたか

研究内容はもとより、実験手法、研究への姿勢など研究者として大切な学びを得ました。また先輩研究者や、仲間とのネットワークを築く貴重な機会にもなりました。将来は医療や健康に関する研究開発で社会に貢献したいと考えています。



自分が思っていることを、
考えていることを
とにかく発信する



留学 若松寿衣さん

生物生産学部 3年次生
AIMS※プログラムでカセサート大学(タイ)へ留学
[派遣期間] 2019年8月～同年12月
※ASEAN International Mobility for Students Program

●留学のきっかけを教えてください

2年生の時に短期留学を経験したことがあり、次のステップとして長期留学を希望していました。他大学の日本人留学生と比較すると、広島大学のプログラムは、奨学金の手当て、単位互換、パートナー大学との連携など、サポートが手厚いことが魅力的でした。

●留学先の授業はどのようなものでしたか

授業はすべて英語で、現地での予習、復習がとても大変でしたが、授業後に個別に対応していただける先生もおり、とても助かりました。農業経済という専門外の授業もあり、難しい内容でしたが、専門的植物分子分野の視点を広げることができました。

●留学を振り返っていかがでしたか

留学中は、決して楽しいことばかりではありませんでした。しかし、自分が思っていること、考えていることを発言することの大切さを学びました。留学中にこのような体験できたことは、とても意味があると感じています。





外観完成予想図

2021年秋、東広島キャンパスに 国際交流拠点施設が誕生します

海外トップ研究者・留学生と本学学生との交流や、本学の東広島市におけるイノベーション創出機能を発揮するための施設「国際交流拠点施設」の整備が始まりました。2024年に向けた周年事業の一環でもある本施設は、東広島市から5億円の支援を受けて2020年10月に着工し、2021年秋の開設を目指します。

本施設は、広島大学が地域、行政、国内外の大学などと広く連携し、より高度な研究とその成果により、地域活性化に貢献するイノベーション創出の拠点とするとともに、国内外からトップクラスの研究者や優れた留学生を招くための居住環境を整備しています。「緑で紡ぐ交流の丘」をコンセプトとし、建物全体がバリアフリーに配慮した設計となっています。1階・2階にはエントランスを中心に、多目的スペースやコミュニティキッチンなどの多彩な交流空間やイノベーション創出空間を、また3階以上の宿舍スペースには、入居者同士の交流を促進する交流ラウンジなどを配置し、区分を明確にしつつ交流を図る設えとしています。7階には国内外のトップクラスの研究者を招聘するための居室を整備したことも特徴の一つです。



多目的スペース(上)、エントランスホール(下)完成予想図

TOPICS 2

福山通運小丸賑わい パビリオン寄贈

2019年10月、学生が多目的に使用できる施設「福山通運小丸賑わいパビリオン」が完成しました。この建物は福山通運株式会社様および公益財団法人渋谷育英会様よりご寄贈いただきました。施工はヤマネホールディングス株式会社様が担当しました。また、オタフクホールディングス株式会社様よりお好み焼き用の鉄板を施設内に寄贈していただきました。本学ではこの施設を活用して、学生の自発的な活動を支援していきます。



福山通運小丸賑わいパビリオン(東広島キャンパス) (左)、引渡式(右)

TOPICS 4

広島大学基金より 称号「学賓」を贈呈

広島大学では、大学基金に顕著な貢献をされた個人様、または団体様へ、称号を贈呈しています。2019年には、2億円のご寄付を賜った一般財団法人緑風会様と、5,000万円のご寄付を賜った株式会社大創産業の創業者である矢野博丈様へ感謝の気持ちを込めて、学賓記を贈呈しました。また矢野様には各界のトップリーダーを講師としてお招きする「世界で羽ばたく。教養の力」の特別講義にて、法学部・経済学部の新入生ら約320人にご講演もいただきました。



一般財団法人 緑風会様へ学賓記を贈呈(左)、矢野 博丈様(右)

TOPICS 6

「広島大学が躍動し広島の地を 活性化させる基金」推進会設立

「広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金」を推進し、イノベーション創出により地域の発展、活性化を実現するため、2018年7月、地域経済界のご理解・ご協力を得て本基金の推進会を設立しました。推進会会長には、設立当初は深山英樹氏(前広島商工会議所会頭)、2020年1月からは池田晃治氏(広島商工会議所会頭)にご就任いただきました。推進会には2020年8月現在、広島県内の企業や団体の代表者の方々をはじめ271人の方にご参加いただき、広島大学が地域の発展に貢献するための貴重なご意見を頂戴しています。

TOPICS 3

広島大学サタケ メモリアルホール基金設立

2018年11月、株式会社サタケ代表佐竹利子様より、佐竹様個人として「広島大学サタケメモリアルホール」を末永く使用していくための基金設立のご提案と10億円のご寄付を賜りました。広島大学では、佐竹様に「広島大学特別栄誉学賓」の称号を贈呈するとともに、ご寄付を原資とする「広島大学サタケメモリアルホール基金」を新たに設立しました。100年後にも光り輝く広島大学のシンボルとして、本基金を核としてサタケメモリアルホールの維持・管理・運用を行い、地域や住民の皆様にも末永く活用していただきます。



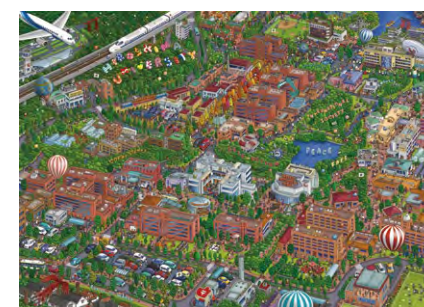
サタケメモリアルホール(東広島キャンパス)

本ホールは、2003年に広島大学創立50周年記念事業後援会から寄付された建物です。秋季の入学式や学位記授与式をはじめとする本学の行事はもとより、地域の皆様にも気軽にご利用いただける身近なホールとして、広く親しまれています。

TOPICS 5

カミガキヒロフミ氏の キャンパスイラスト完成

2020年5月、イラストレーターのカミガキヒロフミ氏に、広島大学のキャンパスのイラストを描いていただきました。東広島キャンパスを中心に、霞キャンパスや東千田キャンパスの建物、広島を象徴する原爆ドームや厳島神社が、カミガキ氏の得意とする細密かつ色鮮やかでポップなタッチで描かれています。本イラストは本学の記念品として活用されます。



「広島大学 知のワンダーランド」(英語名: Exploring Wonderland)と命名されたイラストは、カミガキ氏の監修による特殊な手法で500枚を印刷。すべてに氏のサインとシリアルナンバーを入れています。

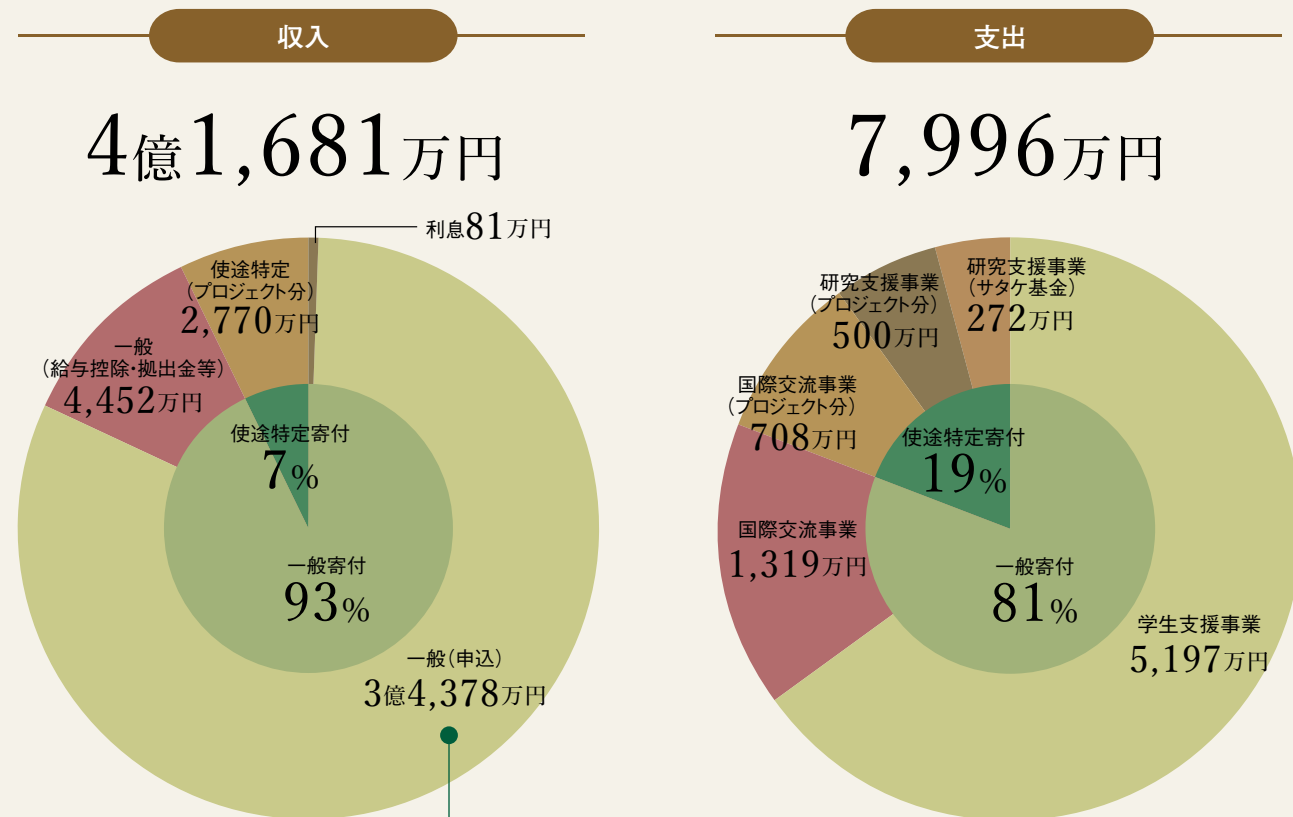


年1回開催される推進会総会では、推進会員への事業報告や意見交換の場となっています

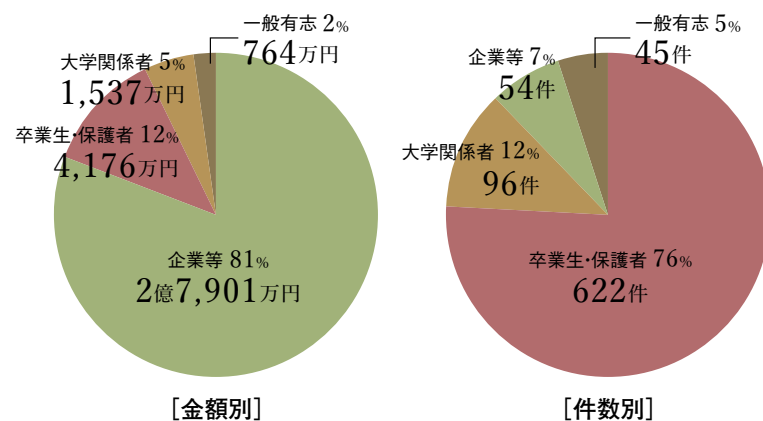
広島大学基金 2019年度の概要

2019年度は、総額約4億1,600万円のご寄付を頂戴しました
皆様からのご支援に、心より感謝申し上げます

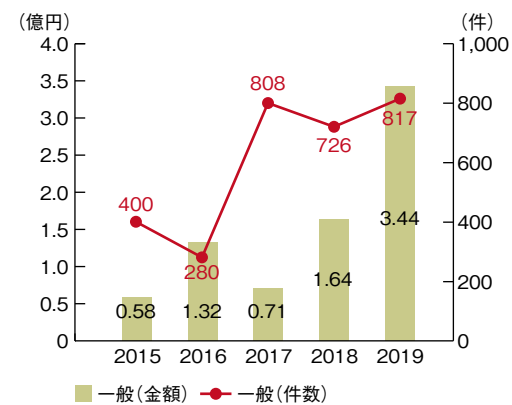
●収支状況



一般寄付 (申込) DATA



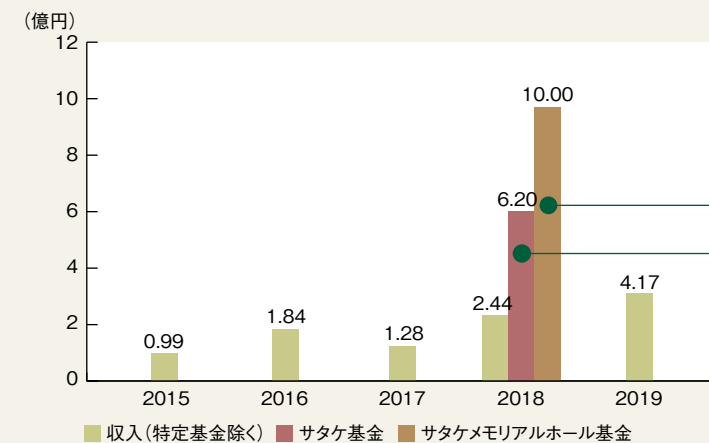
寄付者属性 (2019年度)



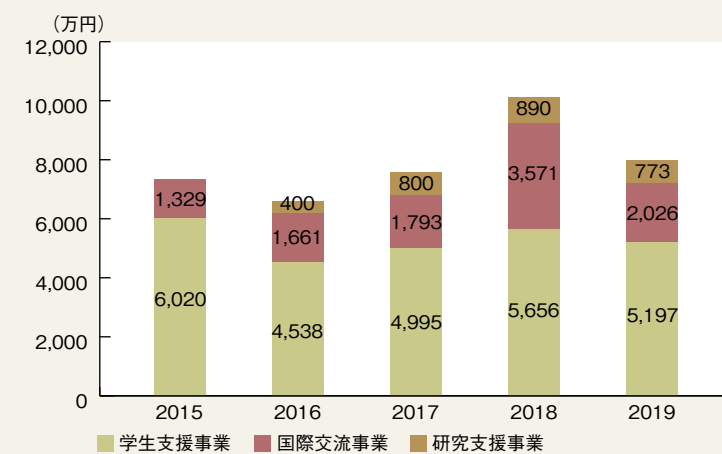
金額・件数推移

広島大学基金の推移 [2015—2019年度]

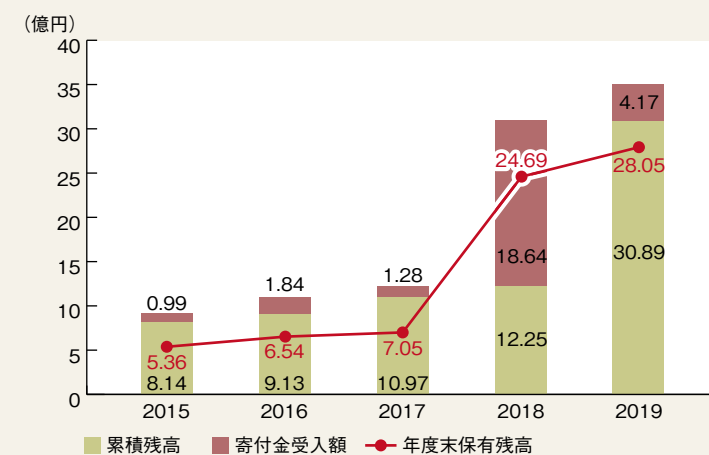
収入推移



支出推移



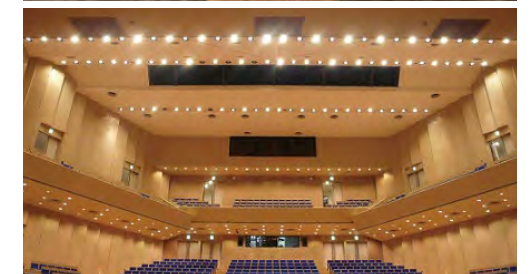
収入累計および年度末保有額推移



CLOSE UP FUND

広島大学サタケメモリアルホール基金

2018年11月に株式会社サタケ代表佐竹利子様から10億円のご寄付を受けて基金を創設し、サタケメモリアルホールの維持管理を推進しています。



創立50周年を記念して2003年に寄付されたサタケメモリアルホール

広島大学サタケ基金

2018年度末に解散した「公益財団法人広島大学教育研究支援財団」*からの残余財産約6億2,000万円のご寄付を受けて基金を設立し、本学の教育・研究活動および国際交流等の助成事業を推進しています。



*前身は1997年度に株式会社佐竹製作所(現・株式会社サタケ)および広島大学教職員からの寄付金を基に設立された「財団法人広島大学後援会」

広島大学基金 寄付種別一覧

広島大学基金では、寄付金の使途や寄付先に応じた基金を設立しています
学生支援財政基盤の安定にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます

FUND 1

広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金

(広島大学75+75周年に向けて)

2024年に広島大学創立75周年、創立前史の75年を加えて150年の節目の年を迎えるにあたり、学生支援事業、国際交流事業、研究支援事業に加え、産官学民連携拠点・イノベーション拠点の構築など、各キャンパスの拠点化を目的として、寄付募集を行うものです。これらの事業を通して、発展・躍動する広島大学を地域や地元実業界の方々が最大限に活

用し、広島のが活性化することを目指します。
キャンパスごとの拠点化が進む中、周年事業の一環として、東広島キャンパスでは「国際交流拠点施設」を現在建設中です。その他、短期海外研修プログラムのSTARTプログラムや、大学院生のための国際学会発表等、学生支援、国際交流、研究支援の各取組みについてもこれまで以上に支援しています。



東広島キャンパス(東広島市)



東千田キャンパス(広島市)



霞キャンパス(広島市)

FUND 2

修学支援事業基金

学力が優秀でありながら、経済的理由により修学が困難な学生を支援しています。本学では、独自の奨学金支援制度「フェニックス奨学金・光り輝く奨学金」を設け、入学料・授業料の免除や学資金の給付に活用されています。なお、この基金では、個人寄付について「所得控除」に加え、「税額控除」の適用対象となっています。



FUND 3

冠事業基金

寄付者の方の氏名、団体名、法人名、その他寄付者が希望する名称を冠とする定額制の寄付制度です。月額50,000円を一口とし、毎月継続して寄付をする仕組みとなっています。日本人学生の外国留学支援や外国人学生の日本留学の支援に活用されています。



FUND 4

広島大学スポーツ振興基金

本学でスポーツに取り組む学生への支援、地域におけるスポーツに関する社会貢献活動への支援、キャンパス内のスポーツ施設の充実、広島大学スポーツセンターの運営支援を目的とし、スポーツの振興を通じて健全な心身と教養、豊かな人間性を備えた人材を育成します。



FUND 6

広島大学医学部医学科基金

国際力豊かな医師や研究者、地域医療を担う医師、新しい医学・医療を切り開く研究医等を養成し、医学・医療の発展に寄与できる人材を輩出するため、医学部医学科の学生を対象に、奨学金支援、国際交流支援、施設整備など、教育方法の改善を含む充実した教育環境の整備を支援しています。



FUND 8

広島大学歯学部基金

国内外の歯科医療、研究、行政の場で活躍するための教育体制を充実させ、新たな時代に対応した歯学教育・研究および口腔医療、口腔健康科学の発展に寄与できる人材を輩出するため、歯学部の学生を対象に、奨学金支援、国際交流支援、施設整備などの教育・研究環境の整備を支援しています。



FUND 5

ひろだいそうか基金

総合科学部担当教員が指導する学部生・大学院生の留学や国際学会発表、地域での社会貢献活動、フィールド調査等のさまざまな学外活動を充実させ、地域との繋がりを大切にしながら、世界に貢献する人材の養成と、総合科学を実践するための支援を行います。



FUND 7

広島大学医学部保健学科基金

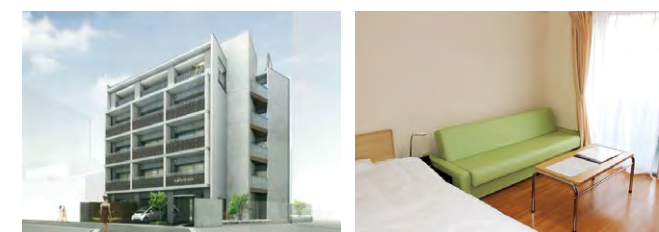
保健学教育の充実を図り、国際的に活躍し、保健学・医療の発展に寄与できる人材を輩出するため、医学部保健学科の学生を対象に、国際交流支援事業や社会貢献事業など、保健学科の「教育の国際化」の取組みを強力に後押ししています。



FUND 9

広島大学病院ファミリーハウス運営基金

小児がん拠点病院として、地域全体の小児がん医療の中心的な役割を担う広島大学病院の入院患児と、広島大学病院ファミリーハウスを利用する家族の経済的・精神的負担を軽減することを目的としています。



広島大学病院ファミリーハウス(広島市)

寄付者顕彰・特典

広島大学基金では、ご寄付をいただいた方に感謝の気持ちを込めて、以下の顕彰を行っています

》 称号の贈呈

一定額以上の寄付をいただいた方に、以下の称号を贈呈いたします(寄付額はいずれも累計)。

寄付の累計金額		称号種類
個人	法人	
10億円以上	20億円以上	特別荣誉学賞
5億円以上	10億円以上	荣誉学賞
5,000万円以上	1億円以上	学賞
500万円以上	1,000万円以上	名誉校友
50万円以上	100万円以上	特別校友



特別校友記



名誉校友記

》 記念品の贈呈

一定額以上の寄付をいただいた方に、広島大学オリジナルの記念品を贈呈いたします(寄付額はいずれも累計)。



1

① 学章入りペーパーウェイト

学章が刻印されたガラス製のペーパーウェイトです。

個人 10万円以上 法人 50万円以上

② 学章入り万年筆

広島県発祥のセラー万年筆製。書き心地が良いと好評の記念品です。

個人 50万円以上 法人 100万円以上

③ モール付徽章 寄付金額別に3種ご用意しています。(純銀製)

[イエローゴールド]

個人 5,000万円以上 法人 1億円以上

[シルバー]

個人 100万円以上 法人 500万円以上

[レッドゴールド]

個人 500万円以上 法人 1,000万円以上

④ 24金学章 学章を象った純金製のバッジです。

個人 500万円以上 法人 1,000万円以上



③ (左からイエローゴールド、レッドゴールド、シルバー)



4

上記以外にも次の記念品があります

14金メダル

個人 10億円以上
法人 20億円以上

10金メダル

個人 5億円以上
法人 10億円以上

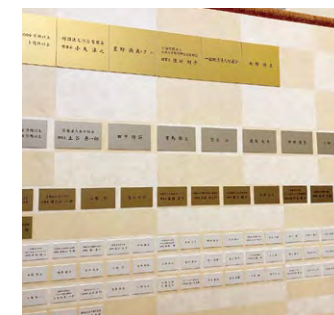
純銀メダル

個人 5,000万円以上
法人 1億円以上

》 銘板の設置

個人 100万円以上(累計) 法人 500万円以上(累計)

高額のご寄付をいただいた方のご芳名を銘板に記し、法人本部棟2階玄関ロビー、学生プラザ正面玄関および広島大学病院診療棟1階ロビーに掲示いたします(希望者のみ。寄付額はいずれも累計)。



法人本部棟(東広島キャンパス)



学生プラザ(東広島キャンパス)



広島大学病院診療棟(霞キャンパス)

》 寄付者のご紹介

広島大学基金にご支援いただいたことを長く記録にとどめます。感謝の気持ちを込めて、ご寄付いただいた方のご芳名を広報誌・ホームページ等でご紹介いたします(希望者のみ)。



》 行事へのご招待

高額のご寄付をいただいた方には、ホームカミングデーなど、学長主催の行事へご招待いたします。



》 ご寄付の方法

1. インターネットからのお申込み

広島大学基金ホームページでは、以下の方法によるご寄付が可能です。

- インターネットバンキング決済
- クレジットカード決済
- コンビニエンスストア決済



2. 払込取扱票によるお申込み

本学指定の払込取扱票に必要事項をご記入の上、ゆうちょ銀行、郵便局および全国の金融機関窓口より払込ください。郵便局の払込機能付きATMもご利用できます。払込取扱票による寄付をご希望の方は、広島大学基金ホームページ内の登録フォームからご請求いただくか、広島大学基金室までお問い合わせください。後日、払込取扱票を郵送いたします。

広島大学基金室

TEL 082-424-6132 FAX 082-424-6179

E-mail kikin@office.hiroshima-u.ac.jp

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou>



広島大学
フェニックスマーク
(商標登録出願中)



広島大学マスコットキャラクター
「ひろティー」

広島大学のシンボル「フェニックス」(不死鳥、ヤシ科の植物)をモチーフとしたフェニックスマークと、マークを親しみやすくキャラクター化した「ひろティー」を制作しました。デザインは国内外で活躍中のイラストレーター、カミガキヒロフミさんが担当しました。

広島大学基金室

〒739-8511 広島県東広島市鏡山一丁目3番2号
TEL 082-424-6132 FAX 082-424-6179
E-mail kikin@office.hiroshima-u.ac.jp
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou>

